

Mizuho Daily Market Report

2024/10/10

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	148.52	149.31	+1.11	+2.84
EUR	1.0959	1.0939	▲0.0041	▲0.0106
AUD	0.6731	0.6718	▲0.0026	▲0.0167
SGD	1.3043	1.3071	+0.0031	+0.0152
CNY	7.0642	7.0808	+0.0175	+0.0621
MYR	4.2873	4.2815	▲0.0058	+0.1055
THB	33.48	33.43	▲0.06	+0.66
IDR	15629	15620	▲25	+355
PHP	57.01	57.02	+0.11	+0.85
INR	83.96	83.96	+0.00	+0.14
VND	24839	24835	▲6	+185

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.073%	+6.1 bp	+29.2 bp
日本(10年)	0.935%	+0.8 bp	+10.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.257%	+1.4 bp	+16.5 bp
オーストラリア(5年)	3.832%	+1.5 bp	+23.6 bp
シンガポール(5年)	2.792%	+0.2 bp	+29.6 bp
中国(5年)	1.884%	▲0.1 bp	+3.0 bp
マレーシア(5年)	3.550%	+0.1 bp	+4.5 bp
タイ(5年)	2.283%	▲4.0 bp	+4.8 bp
インドネシア(5年)	6.435%	▲9.4 bp	+16.4 bp
フィリピン(5年)	5.535%	▲12.4 bp	+6.6 bp
インド(5年)	6.687%	▲3.5 bp	+2.0 bp
ベトナム(5年)	1.990%	▲2.0 bp	▲3.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,512.00	+1.0%	+0.7%
N225(日本)	39,277.96	+0.9%	+3.9%
STOXX50(ユーロ圏)	4,982.57	+0.7%	+0.4%
ASX(オーストラリア)	4,507.44	+0.7%	▲0.5%
FTSE(シンガポール)	3,596.66	+0.6%	+0.3%
SSEC(中国)	3,258.86	▲6.6%	▲2.3%
SENSEX(インド)	81,467.10	▲0.2%	▲3.3%
JKSE(インドネシア)	7,501.29	▲0.7%	▲0.8%
KLSE(マレーシア)	1,634.91	▲0.0%	▲0.3%
PSE(フィリピン)	7,424.52	▲1.5%	+0.3%
SETI(タイ)	1,456.97	+0.3%	+0.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,281.85	+0.8%	▲0.5%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	286.14	▲0.4%	▲0.3%
金	2,607.77	▲0.5%	▲1.9%
原油(WTI)	73.24	▲0.4%	+4.5%
銅	9,529.83	▲0.7%	▲4.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	146.60	—	149.80
EUR/USD	1.0930	—	1.1250
AUD/USD	0.6685	—	0.6960
USD/SGD	1.2860	—	1.3130
USD/CNY	7.0660	—	7.0890
USD/INR	4.1200	—	4.3230
USD/THB	31.90	—	34.05
USD/IDR	15500	—	15650
USD/PHP	55.30	—	57.70
USD/INR	83.30	—	84.30
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は148円台前半でオープン。その後は同水準にてもみ合う展開となったものの、午後には中国財政省が財政政策調整の強化に関して説明するとの報道が伝わるとクロス円の上昇を伴ってドル円は148円台後半まで上昇。結局148円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に堅調推移。中東紛争停戦の可能性を背景にリスク選考が高まったことが要因。また、インド中銀は昨日政策金利の据え置きを決定したが、景気減速の兆しが確認されている中で政策スタンスに対して従前よりも中立的な見解が示された。

欧州時間のドル円は148円台前半でスタート。日本株高を背景とした円売りが優勢となり、ドル円は底堅い推移が続き、148円台後半でNYオープン。午前中は米金利が一段と上昇する展開に伴ったドル買いが優勢となり、149円台前半まで上昇。午後に発表された低調な米10年債の入札結果を受け、ドル円は上値を伸ばした。続いて発表された米9月FOMC議事録では、「9月の決定が将来における利下げペースを確約するものではない」との認識も示された。その後も高値圏の149円台前半での推移が続き、同水準にてクローズ。

【金利】

昨日の米債利回りは上昇。米利下げ織り込みの後退や、昨日の米10年債入札の結果が軟調であったこと等が要因。米10年債は前日比+6.1bpでクローズ。

【予想】

本日のドル円相場は上下動する展開に注意が必要と考える。本日は日本時間にて日銀氷見野副総裁の記者会見が予定されており、利上げに対して具体的な言及があるかどうかに注目。また、海外時間には米CPIが予定されており、市場予想は前年比+3.2%ではあるものの、市場予想を上回った場合ドル買いが加速する展開に警戒したい。

【本日の予定】

(日本) 9月 国内企業物価指数 / 銀行貸出動向
(日本) 9月 東京オフィス空室率
(日本) 国債入札(5Y)
(アジア) 3Q シンガポール GDP
(アジア) 8月 フィリピン 貿易収支
(アジア) 9月 NZ REINZ住宅売上高
(アジア) 休場 香港
(欧州) 8月 キリシャ 鉱工業生産
(欧州) 8月 伊 鉱工業生産
(欧州) 9月 キリシャ CPI
(欧州) 9月 英 RICS住宅価格
(欧州) 伊 国債入札(12M)
(米国) 9月 CPI
(米国) 9月 実質平均時給
(米国) 国債入札(30Y)
(米国) 新規失業保険申請件数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。